

昨年生まれのヘサキリクガメが死亡しました

野毛山動物園で飼育していた昨年生まれのヘサキリクガメが、死亡しましたのでお知らせします。

1 死亡したヘサキリクガメについて

- (1) 名 前：(なし)
- (2) 性 別： 不明
- (3) 年 齢： 1 歳 5 か月齢
(平成 28 年 5 月 25 日生まれ)
- (4) 死亡日：平成 29 年 11 月 14 日 (火)
- (5) 死 因：衰弱死 (詳細は調査中)



死亡したヘサキリクガメ

2 プロフィールと経過

昨年繁殖した 3 個体のうちの 1 頭で、両親は種の保存法違反で摘発された違法飼育個体を保護したものです。

前日の 11 月 13 日 (月) に体調を崩し、翌日 11 月 14 日 (火) に急死しました。

詳しい死因については病理検査中です。



野毛山動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 鈴木 浩 TEL045-231-1307

【参考資料】

1 ヘサキリクガメについて

- ◆和名：ヘサキリクガメ
- ◆学名：*Astrochelys yniphora*
- ◆分類：カメ目 リクガメ科
- ◆分布：マダガスカル島北西部のバリー湾周辺
- ◆形態：最大甲長約 45cm のどの下の甲羅の喉甲板が船のへサキのように伸びており、名前の由来ともなっている。
- ◆国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト：絶滅危惧 IA類（CR）
ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
- ◆ワシントン条約（CITES）：附属書 I
絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
- ◆生態等：野生ではアフリカマダガスカル島の一部に約 100～400 頭が生息するのみで、世界でも最も絶滅が危惧されているリクガメの一種。1970 年代に森林伐採などで生息数が激減し、自然団体が 10 年以上かけて同島で 170 頭ほどの繁殖に成功したものの、1996 年にはその約半数が盗まれ、各国に密輸された。食性は植物食で草や多肉植物等。
- ◆国内飼育園館について：野毛山動物園のみ 8 頭（オス 2 頭 メス 1 頭 不明 5 頭）
(今回死亡した個体をのぞく) (2017 年 11 月 15 日現在)

2 野毛山動物園について

- ◆入園料：無料
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/1
- ◆交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車 徒歩 15 分、
または市営バス 89 系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩 10 分
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>
- ◆住所：横浜市西区老松町 63-10
- ◆問合せ先：045-231-1307